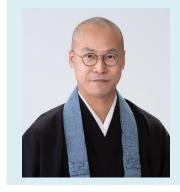
日本浄土思想の歴史

~円仁・源信・法然・親鸞~

阿弥陀仏と極楽浄土の教えは、昔から人々の心の拠り所となってきました。大陸から 伝わった浄土思想は日本で「凡夫が救われていく仏道」として確立し、芸術や文化にも 影響を与えていきます。

本講座では日本の浄土思想において重要な円仁・源信・法然・親鸞の4人の仏教者を取り上げ、その思想的な展開と歴史についてお話いたします。



【講師】龍谷大学非常勤講師 四夷 法顕 【講座日】10/23から第4月曜15:00~16:30 【受講料】6カ月 15.180円

※毎日文化センターの会員でない方は入会金が必要 (65歳以上 3300円・有効期限なし/65歳未満 5,500円・3年間有効)

- ① 10月23日 浄土思想とは? 阿弥陀仏とは?
- ② 11月27日 円仁と比叡山における浄土思想の起こり
- ③ 12月25日 源信の『往生要集』と浄土思想の隆盛
- ④ 1月22日 法然による仏教の解体と再構築
- ⑤ 2月26日 親鸞が「浄土真宗」という宗名にこめた意味
- ⑥ 3月25日 『歎異抄』にみる親鸞の思想

四夷 法顕(しい ほうけん) プロフィール

龍谷大学/相愛大学非常勤講師、浄土真宗本願寺派宗学院研究員 浄土真宗本願寺派信行寺住職、博士(文学)、専門は日本浄土教思想/真宗学

お申し込みは

№毎日文化センター

TEL: 06-6346-8700 / FAX: 06-6346-8703



〒530-8251 大阪市北区梅田 3 - 4 - 5 毎日新聞ビル 2 階 www.maibun.co.jp/wp/